

株式会社みずむすびマネジメントみやぎに対するシンジケーション方式による ソーシャルローンの組成について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）では、株式会社みずむすびマネジメントみやぎ（宮城県仙台市、代表取締役社長 酒井 雅史、以下「当社」といいます。）に対して、三井住友信託銀行株式会社をアレンジャー、当行をコ・アレンジャーとするシンジケーション方式によるプロジェクトファイナンスを組成いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本件組成にあたり、株式会社日本格付研究所より、ローン・マーケット・アソシエーション（注）等が定めた「ソーシャルローン原則」に則した「ソーシャルローン」評価を取得しております。

ソーシャルローンは、サステナブルファイナンスの1つであり、衛生・福祉・教育などの社会問題の解決に資金用途を限定した調達方法です。資金の追跡管理や融資実行後のレポートを通じ、透明性が確保される等の特徴を有しております。

当行では、今後も様々なプロジェクトへの関与により、魅力ある地域の創造と、地域で輝く企業の成長支援を通じて、地域とともに持続的成長を実現してまいります。

注. ローン・マーケット・アソシエーションは、欧州、中東、アフリカのシンジケート・ローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60カ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

記

1. シンジケート・ローンの概要

契約金額	: 89億円
契約締結日	: 2022年2月16日
契約形態	: シンジケーション方式コミットメント期間付タームローン
資金用途	: 宮城県上工下水一体官民連携運営事業における設備資金
アレンジャー	: 三井住友信託銀行
コ・アレンジャー	: 七十七銀行
参加金融機関	: 七十七銀行、仙台銀行、第一生命保険、三井住友信託銀行 (五十音順)

※シンジケート・ローンについて

アレンジャーが中心となって融資条件を決定し、複数の金融機関でシンジケート団を組成して行う融資形態です。企業にとっては、同一の借入条件のもとで多数の金融機関との取引窓口が一本化されることにより、資金調達に伴う事務の簡素化、効率化が可能となります。

- 1 -



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



2. 組成の経緯

当社は宮城県上工下水一体官民連携運営事業（以下、「本事業」といいます。）に関連した特別目的会社として設立され、株主企業はメタウォーター株式会社、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社、オリックス株式会社、株式会社日立製作所、株式会社日水コン、株式会社橋本店、株式会社復建技術コンサルタント、産電工業株式会社、東急建設株式会社、メタウォーターサービス株式会社の10社で構成されています。

本事業は宮城県が保有する水道用水供給事業、工業用水道事業および流域下水道事業の施設運営を20年間にわたり、民間事業者が担うものです。当社は、2021年12月6日に宮城県と実施契約を締結済みであり、2022年4月の事業開始を予定しています。

当社は、宮城県との公民連携のもと、国内の水・インフラ事業において多くの実績を有する企業と、宮城県の水事業に精通した地元企業という「水のプロフェッショナル企業」が結集し、ノウハウと人材を駆使して事業を運営します。

(関連するSDGs)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言 ～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。

以上